

令和 8 年度 第 1 回浜松市男女共同参画審議会 会議録

- 1 開催日時 令和 8 年 7 月 3 日(金) 午後 2 時 30 分から午後 4 時 30 分まで
- 2 開催場所 浜松市役所 北館 1 階 101・102 会議室
- 3 出席状況
 - (1) 委員 石原和代委員、犬塚協太委員、葛島昌己委員、新村早織委員、鈴木竜一委員、高橋節郎委員
※50 音順
 - (2) 事務局 中村美紀UD・男女共同参画課長
平澤啓樹UD・男女共同参画課長補佐
大場由紀共同参画グループ長、古木巧真、内山美穂
 - (3) その他 特定非営利活動法人浜松男女共同参画推進協会 3 人
- 4 傍聴者 3 人
- 5 議事内容
 - (1) 令和 8 年度事業計画（男女共同参画主要事業）
 - (2) 第 4 次浜松市男女共同参画基本計画進捗状況（令和 7 年度実績）
- 6 報告 令和 7 年度活動拠点施設事業（あいホール事業）報告
- 7 会議録作成者 内山美穂
- 8 記録の方法 発言者の要点記録（録音の有無：有）
- 9 配付資料
 - (1) 次第
 - (2) 委員名簿
 - (3) 【資料 1】 令和 8 年度事業計画（男女共同参画主要事業）
 - (4) 【資料 2-1】 第 4 次浜松市男女共同参画基本計画進捗状況報告書（令和 7 年度実績）
 - (5) 【資料 2-2】 第 4 次浜松市男女共同参画基本計画進捗状況調査票
 - (6) 【資料 2-3】 事前質問一覧（令和 7 年度実績）
 - (7) 【資料 3】 令和 7 年度活動拠点施設事業（あいホール事業）報告
- 10 会議記録 次頁以降のとおり

1 開会

事務局

令和8年度第1回浜松市男女共同参画審議会を開催する。

2 会長あいさつ

3 議事

(1) 令和8年度事業計画（男女共同参画主要事業）について

事務局

令和8年度事業計画（男女共同参画主要事業）【資料1】の説明

犬塚会長

事務局から説明があった「令和8年度事業計画（男女共同参画主要事業）」について、まず、本日欠席の前嶋委員から事前に寄せられたご意見に対する回答をお願いしたい。

事務局

【資料2-3】に基づき説明。

犬塚会長

その他、ご意見、ご質問はあるか。

高橋委員

「女性に特化した起業支援セミナー」は、非常に良い取組である。民間においても起業支援セミナー等を開催すると女性の参加者が多く、ニーズが高い事業であると思う。是非、続けていってほしい。

事務局

本事業については、現在詳細検討中であるが、女性の転出超過抑制という女性に選ばれるまちプロジェクトの目的に沿って、女性のニーズに即したセミナーを企画したいと考えている。

鈴木委員

「浜松で活躍している女性による魅力発信事業」noteを拝見した。非常に良い事例が多く紹介されている。高校生が見てくれば、進学で一旦市外へ出ても、戻ってきてこんな活躍ができるという認識を持ってもらえと思う。

事務局

そういった対象とする世代に見てもらえるよう、市内の高校、大学等に本事業のチラシを配架している。

(2) 第4次浜松市男女共同参画基本計画進捗状況（令和7年度実績）について

事務局

第4次浜松市男女共同参画基本計画進捗状況報告書（令和7年度実績）【資料2-1】【資料2-2】の説明。

犬塚会長

事務局から説明があった「第4次浜松市男女共同参画基本計画進捗状況報告書（令和7年度実績）」について、委員からの事前質問及びそれに対する回答が【資料2-3】にまとめられているので、事務局から説明をお願いしたい。

事務局

【資料2-3】に基づき説明。

犬塚会長

事務局から説明があった事前質問、回答につき、ご意見があればお願いしたい。

葛島委員

DV相談専用ダイヤル事業について、相談事業の所管課がUD・男女共同参画課と子育て支援課の2課にわたっていると知らなかったため事前質問した。相談者への迅速な支援を考えると、ワンストップ体制が必要であると考え。迅速な支援のための協議をお願いしたい。

事務局

DV相談については、子育て支援課と協力して取り組んでいるところであるが、今後の体制について協議をしていきたい。

新村委員

女性職員スキルアップ研修に対する質問の意図を補足したい。女性管理職を増やすために必要なのは、女性に対する研修なのかということ。女性は、ライフステージの変化が昇進の障壁となるケースがまだまだ見られるように思う。また、就職当初から男性に比べて意志決定のある仕事を与えられず、そういった積み重ねで能力の発揮ができない状況でもある。そのような組織環境を変えていく、女性が過ごしやすい組織にしていくための日々の取組こそが必要ではないのか。

事務局

女性が働きやすい環境づくりといった点については、女性に選ばれるまちプロジェクトの事業において取り組んでいる。特に「女性活躍推進セミナー」においては、企業の管理職層をターゲットに、女性の活躍促進や女性が抱える課題、それを解消するための取組事例の紹介等による意識づけ、問題意識を持っていただくよう図っているところである。

犬塚会長

新村委員のご意見に補足をしたい。女性職員スキルアップ研修というのは、管理職候補の年代の市女性職員に向けて、従来女性に足りないと言われてきたマネジメント能力等の研修をするものと認識している。もちろん、そういった研修も必要ではあるだろうが、そもそも「男性がメイン、女性は補助」といった従来型の性役割、働き方モデルを変えていく必要がある。研修等と並行して、日々の業務体制の中での男女双方へのトレーニングが必要であると考え。長期的スパンと、より広い視野で、全庁的に考えていていただきたい。

犬塚会長

続いて、事前質問1番の「女性防災リーダーの育成」について伺う。

自主防災隊男性役員と地域の女性がペアで参加するという回答をいただいたが、参加して終わりではなく、その先、地域防災の担い手、女性リーダーとしてどう活躍させるかといったプランがあるのかを聞いたかった。研修だけ受けて活躍に繋がらないではもったいないので、その辺りまで含めて検討いただきたい。

次に、事前質問24番の「自治会長女性割合比率向上のための取組み」について。自治会長の比率が1%に満たないという厳しい状況であるため、質問をした。回答にあるように、UD・男女共同参画課実施の「こらぼ講座」を、いかに自治会の皆さんに受講してもらえるかが肝心だと考える。十分に周知を行っているとは思いますが、反応が薄いことを考えると、実際の受講に繋がるインセンティブ、動機づけを与えていくといった工夫が必要ではないか。更に踏み込んだ取組はされないのか。

事務局

自治会長の年齢層に馴染みのある媒体「広報はままつ」紙面上で、ジェンダーギャップ解消等の特集記事掲載をすることや、自治会長会議等へ足を運び「こらぼ講座」の紹介をすることなどを検討している。

犬塚会長

ぜひお願いしたい。加えて、そういった取組の中で、女性が自治会長になった地域の事例紹介をお願いしたい。一般論だけではなかなか響かないこともある。女性が会長になって地域活性化に繋がったような具体的事例を伝えることで効果が期待できるのではないかな。

事務局

他市の事例等も研究していきたい。

犬塚会長

事前質問 3 番の「ワーク・ライフ・バランス推進事業」チラシ配布廃止に関する質問については、回答によりよくわかった。紙媒体での周知方法を、メールマガジン等の形に変えていくことで、伝わりやすくなっているということであるならばそれで結構。引き続き情報発信方法の検討を重ねながら、より効果的な方法を図っていただけるとありがたい。その次の事前質問 4 番である「自殺対策推進事業」に関わる紙媒体作成部数についても同じことを申し上げる。

その他、事前質問をされていない方も含め、これまでの資料、議論について、ご意見等があればお願いしたい。

石原委員

防災対策、女性自治会長割合について、市からの説明があったが、計画が具体的でないように思う。まだまだ「女性は自治会役員になるべきではない」という考えが主流の地域もあるが、やはり、女性が自治会や自主防災隊に積極的に関わっていくということは重要。災害発生時に、男性だけによる避難所運営では、様々な人達に配慮された避難所にはならないのではないかと危惧する。

女性が地域で意見を言える環境づくりのために、ぜひ、浜松市としても、各自治会、自主防災隊レベルでの好事例の周知活動を行っていただきたい。

犬塚会長

最後に一点、資料 2-2 について申し上げたい。

まず、成果指標について。令和 7 年度数値は、現状値（令和 5 年度）と比較すると、いずれも全体的に数値が上がってきている。今年度以降どうなるかわからないものの、早い段階で目標値を上回る傾向が続いてきた場合、目標値や基準値の引き上げを検討することが必要ではないか。令和 8 年度のデータが出たあたりで一度考えるとよいと思う。

次に、モニタリング指標の 3 番、ワーク・ライフ・バランス推進に関する調査実施について。毎年調査実施できない場合、浜松市としてのデータが取れなかった年には、県や国が行った同様調査のデータを参考値として記載してはいかがか。全く数値がないよりは、多少の動向が見えて比較ができると思われるので、検討をお願いしたい。

本日の議事は以上とする。

4 報告令和 7 年度活動拠点施設事業（あいホール事業）報告について 特定非営利活動法人浜松男女共同参画推進協会（以下、男女協会）

令和 7 年度活動拠点施設事業（あいホール事業）報告の説明

事務局

男女協会からの報告内容につき、事前にいただいたご意見に対し【資料 2-3】のとおり、事務局から回答する。

事務局

【資料 2-3】に基づき説明。

事務局

報告内容について、その他ご意見、ご質問があればお願いしたい。

葛島委員

【資料 3】8 ページの浜松開誠館高校での活動については、テレビニュースでも目にしたが、多くの男子生徒が「生理に対しての理解が深まってよかった。」と話しており、よい取組だと感心した。

浜松男女共同参画推進協会

男女協会としては、3 年程前から浜松開誠館高校 S D G s 部の活動に関わっている。女性、男性、国籍関係なく、フラットな関係性で活動を行っており、生理を学ぶプロジェクトもその中の一つである。

加えて、防災の質問に関連して一つ紹介したい。浜松市内には、企業が中心となった防災ボランティア支援グループという組織がある。現在、そこが受けた助成金を基に、企業、行政、市民団体等が連携して浜松市全体で防災ネットワークを作っている。自治会や男女共同参画の視点で防災を考えるという中で、皆様にも関わっていただけると、包括的な防災ネットワークというものが作れるのではないかと期待している。

事務局

令和 7 年度活動拠点施設事業（あいホール事業）の報告は、以上とする。

5 次回審議会開催について

＜次回審議会開催について案内＞

6 閉会

事務局

以上で、令和 8 年度第 1 回浜松市男女共同参画審議会を閉会する。